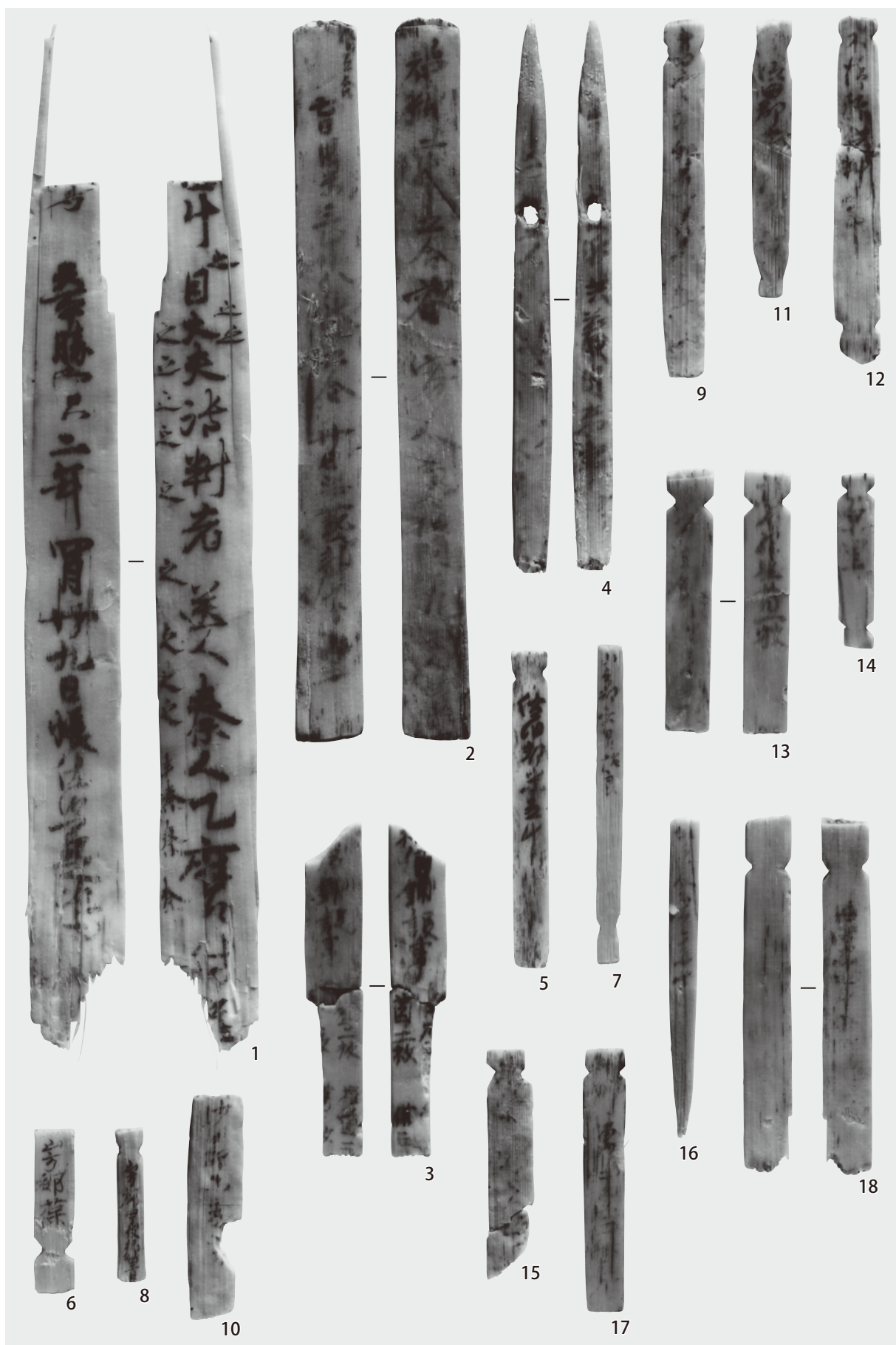


図 版

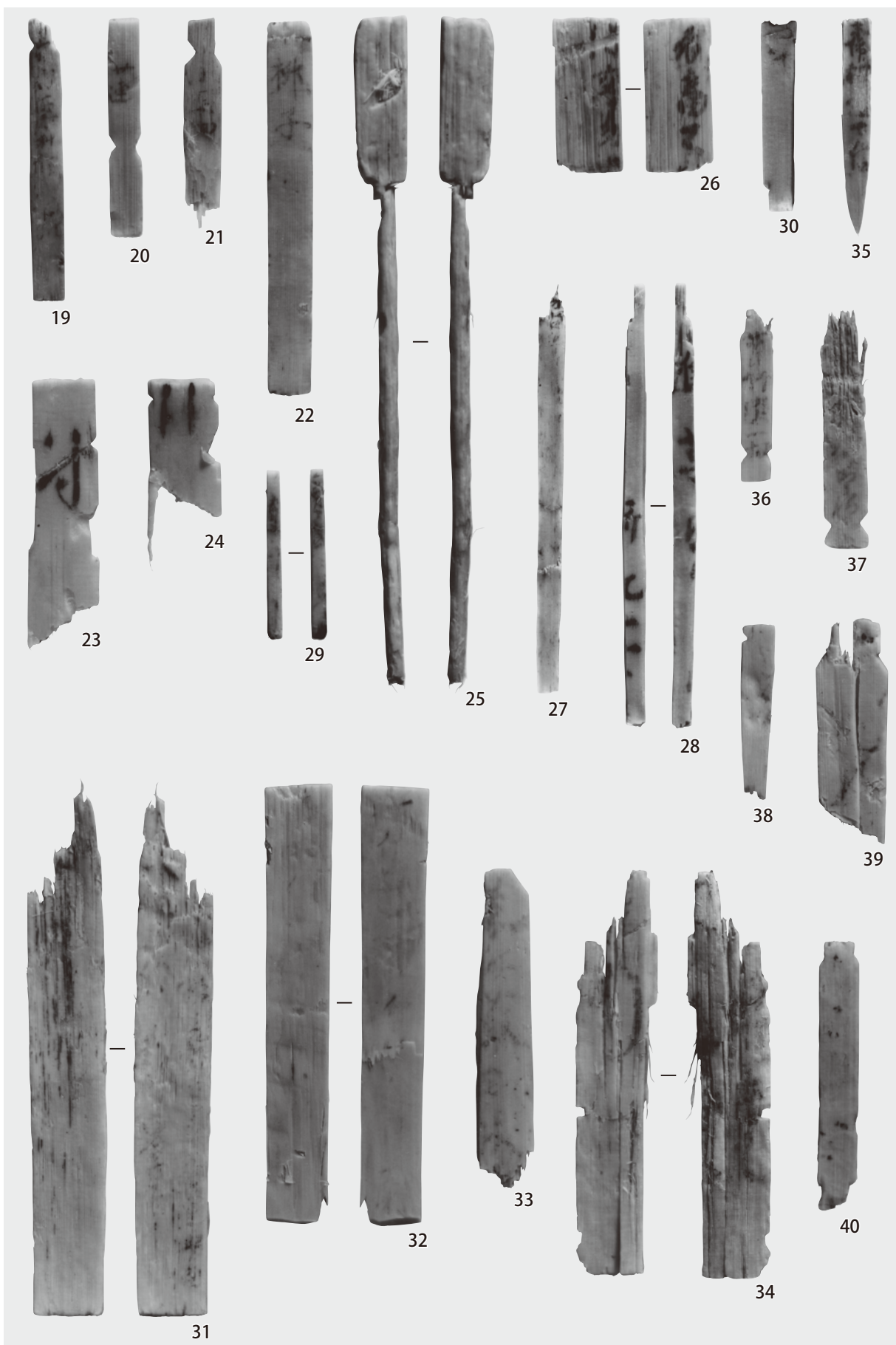


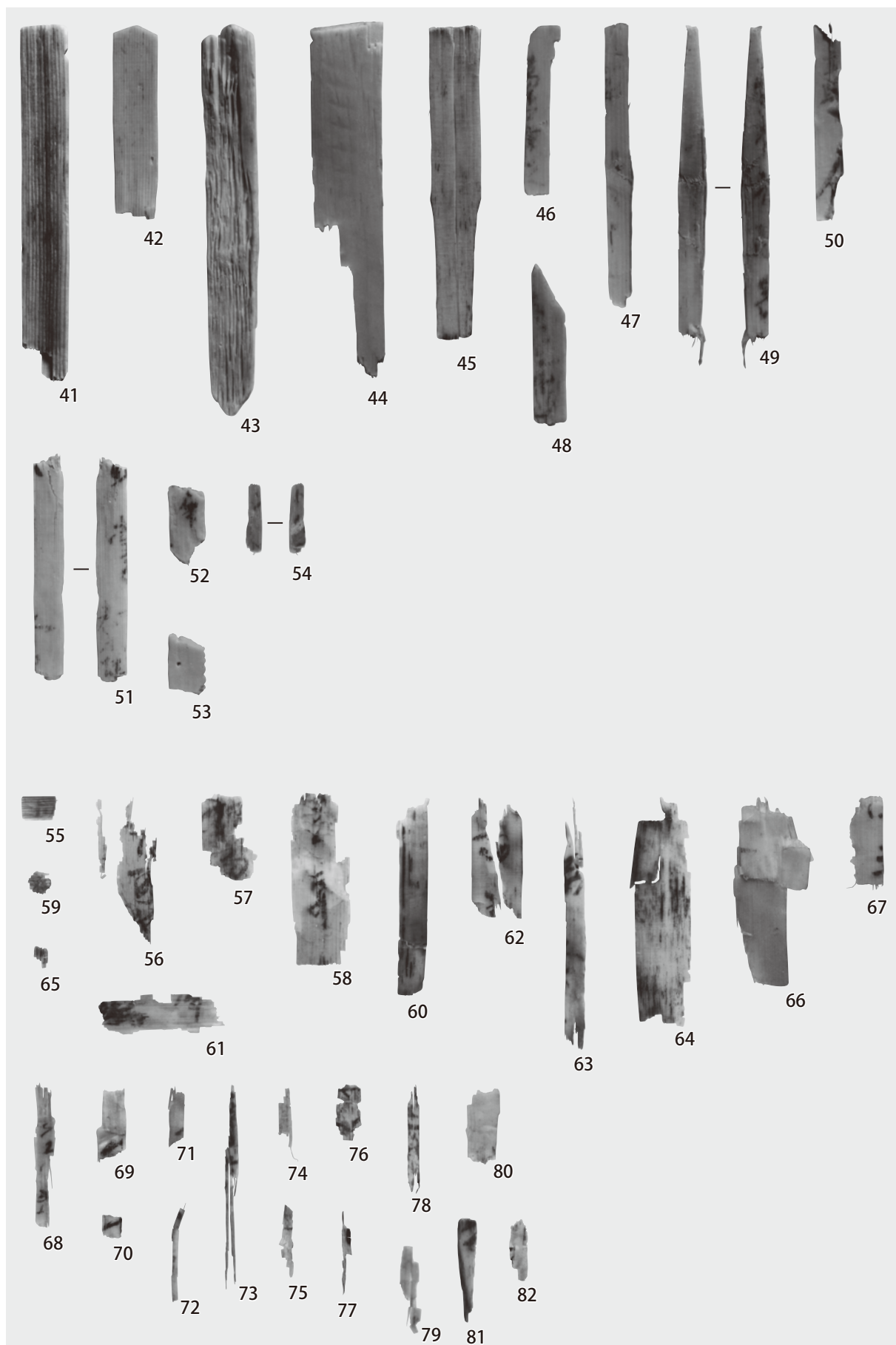
451号土坑(SK451)遺物出土状況(南から)

図版一 木簡(一)

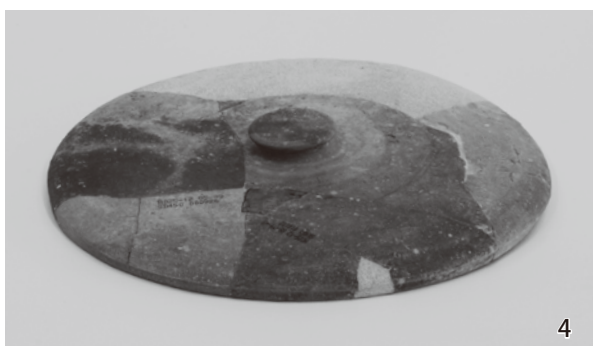
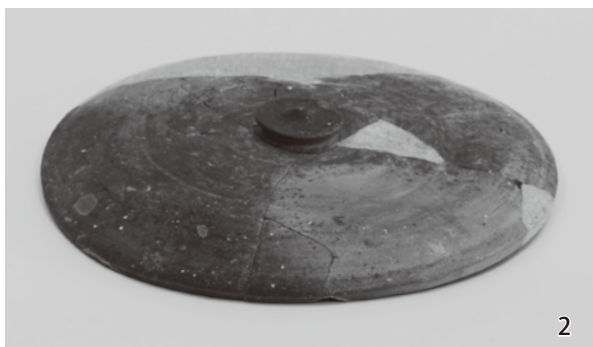


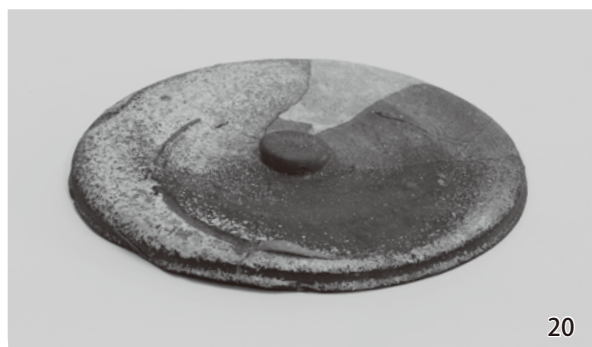
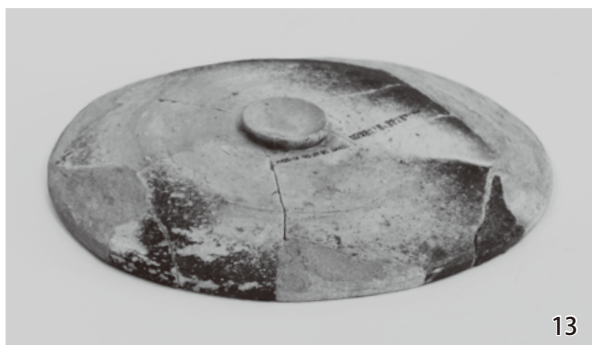
図版二 木簡(二)

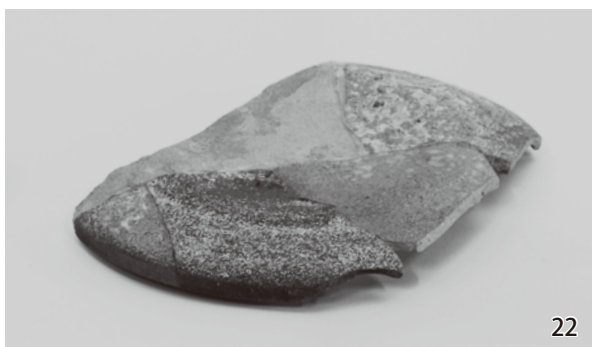




図版四 墨書土器(一)

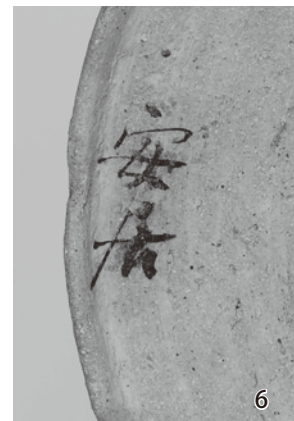
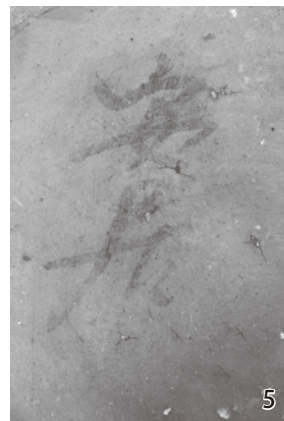
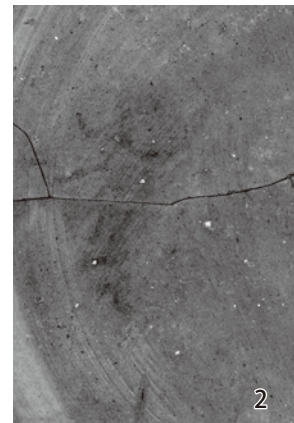
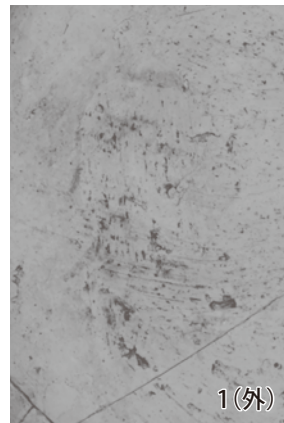
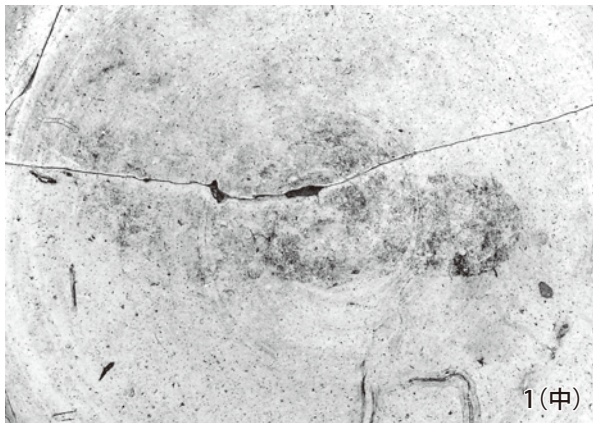




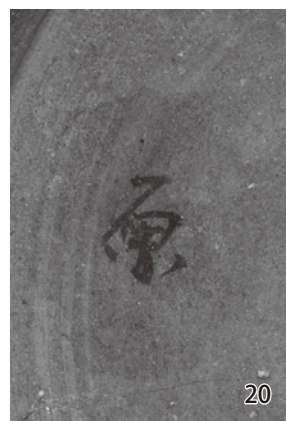
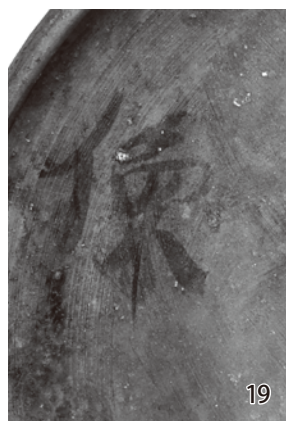
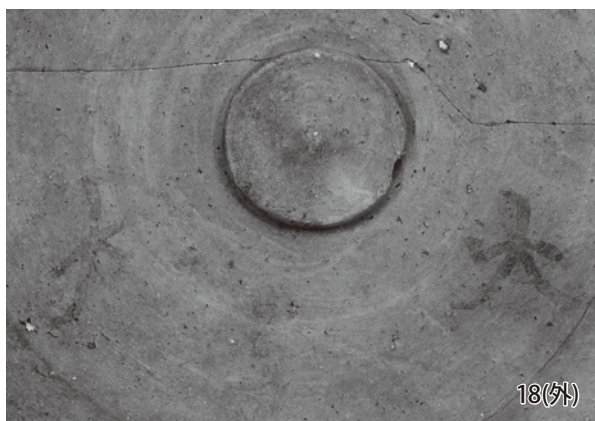
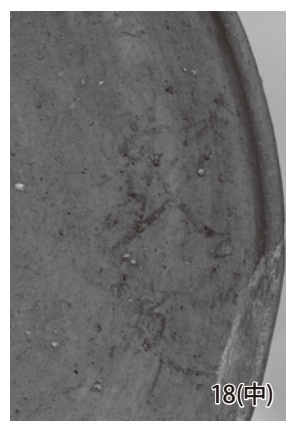
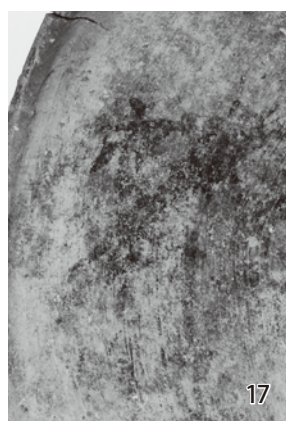
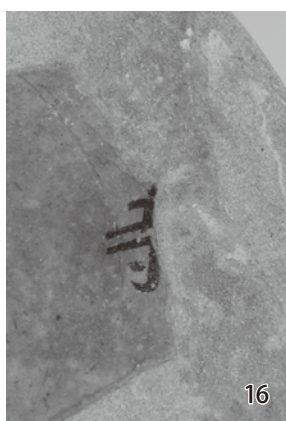
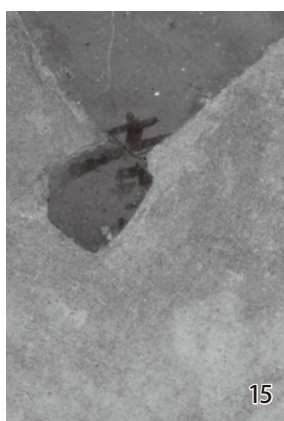
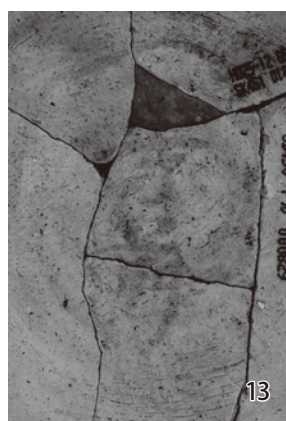
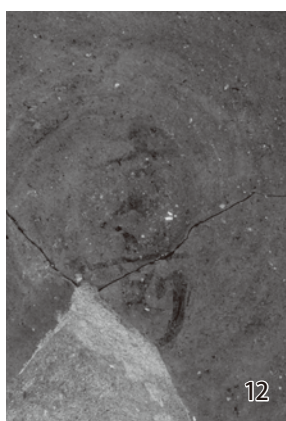
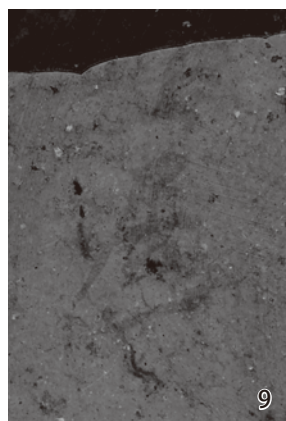
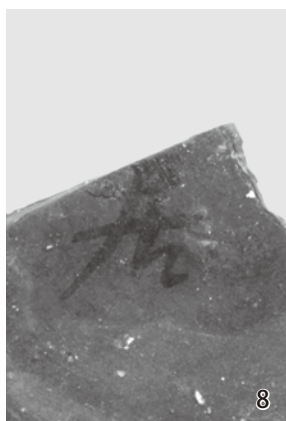
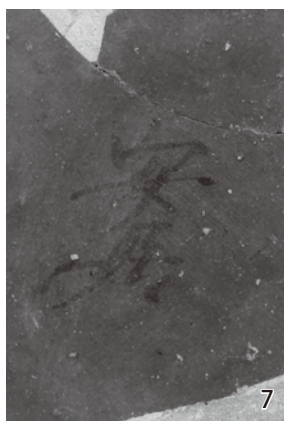




図版八 墨書土器(五)、墨書(一)

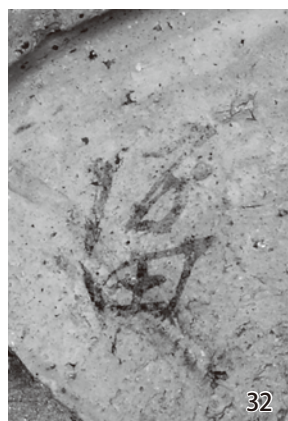
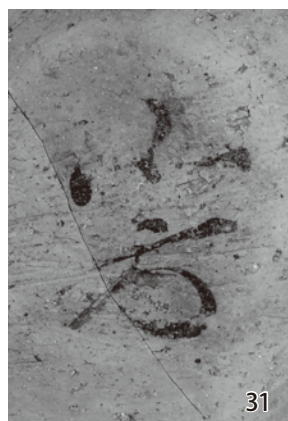
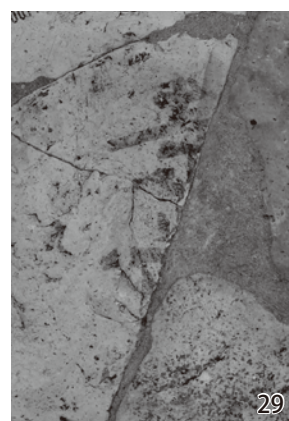
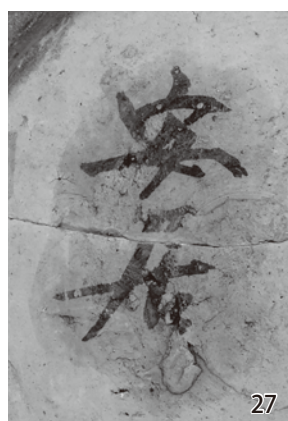
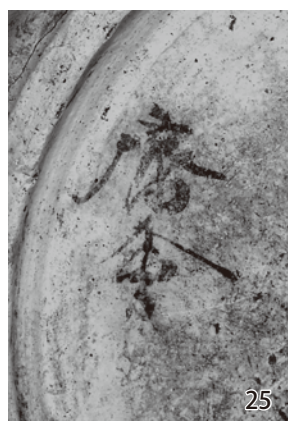
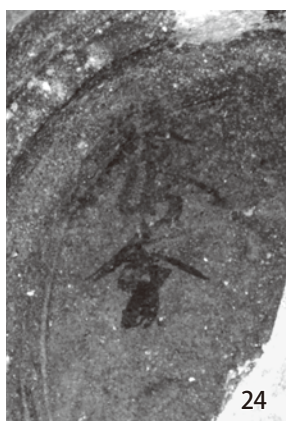
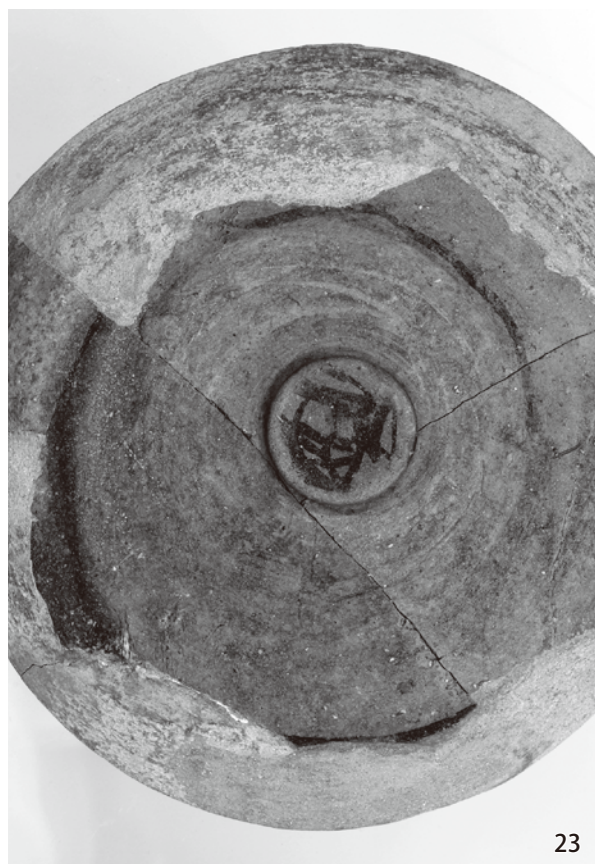


(番号は墨書土器に同じ)

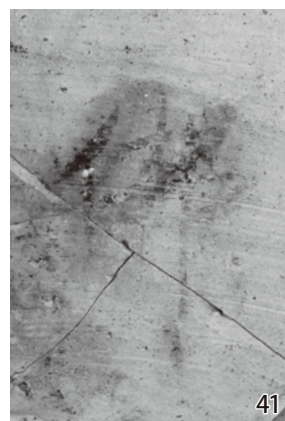
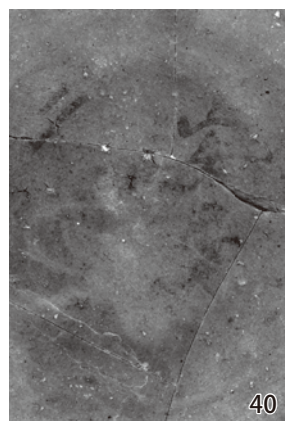
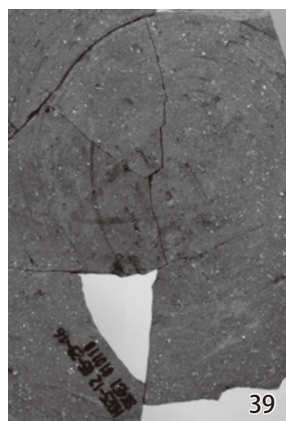
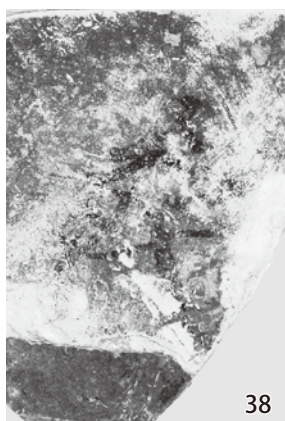
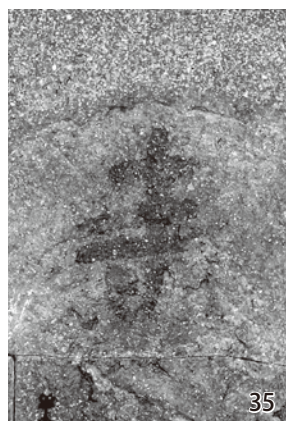
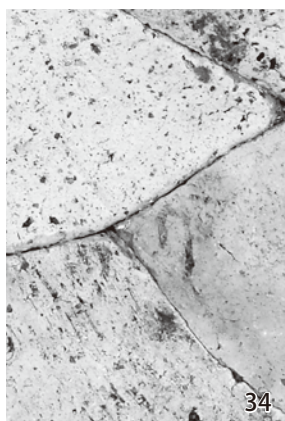


(番号は墨書土器に同じ)

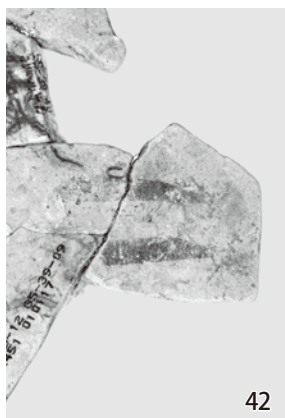
図版十 墨書(三)



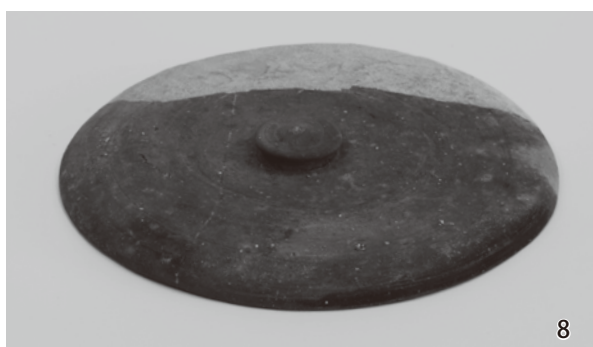
(番号は墨書土器に同じ)

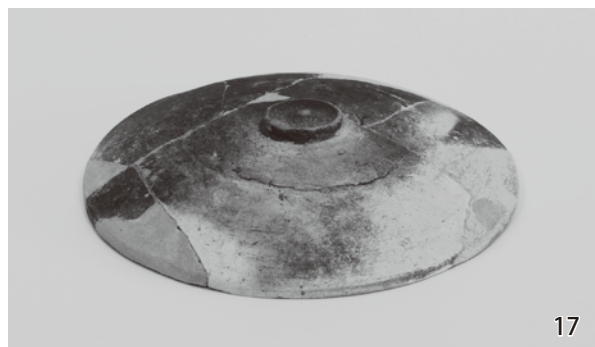
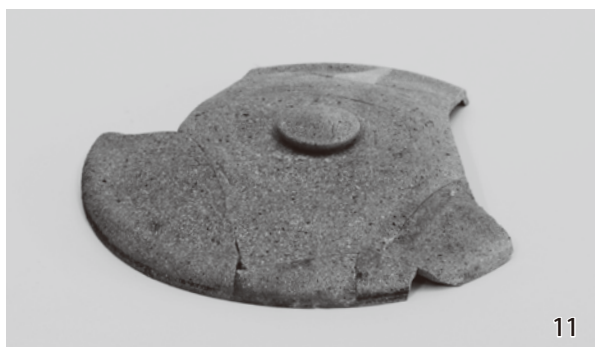


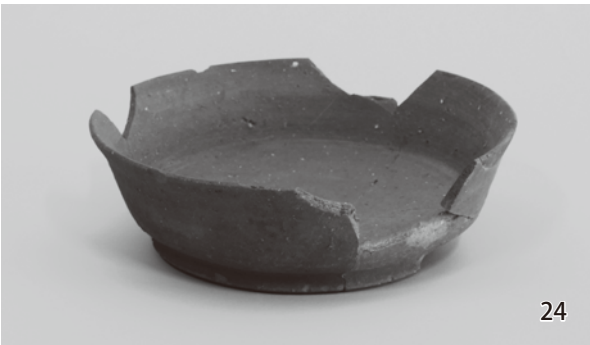
(番号は墨書土器に同じ)

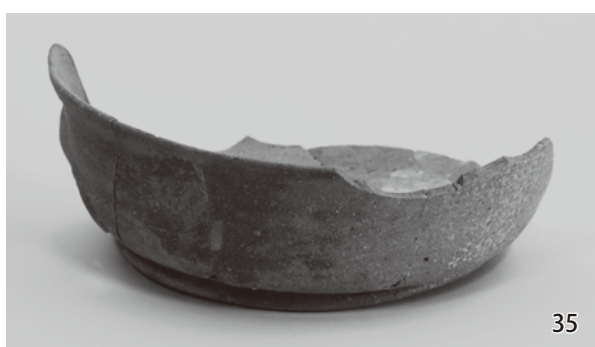


図版十二 土器(須恵器一)



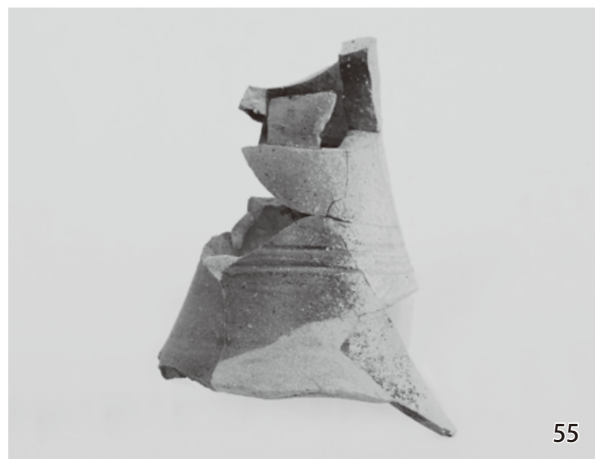




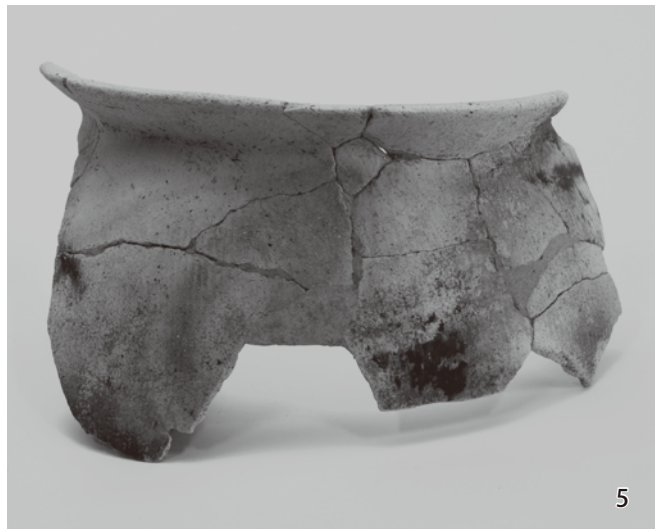


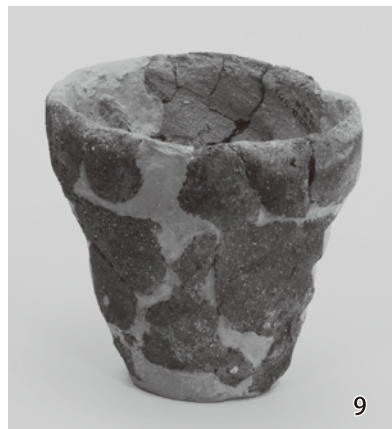
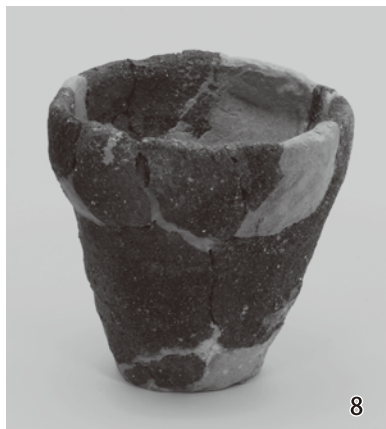
図版十六 土器(須恵器五)



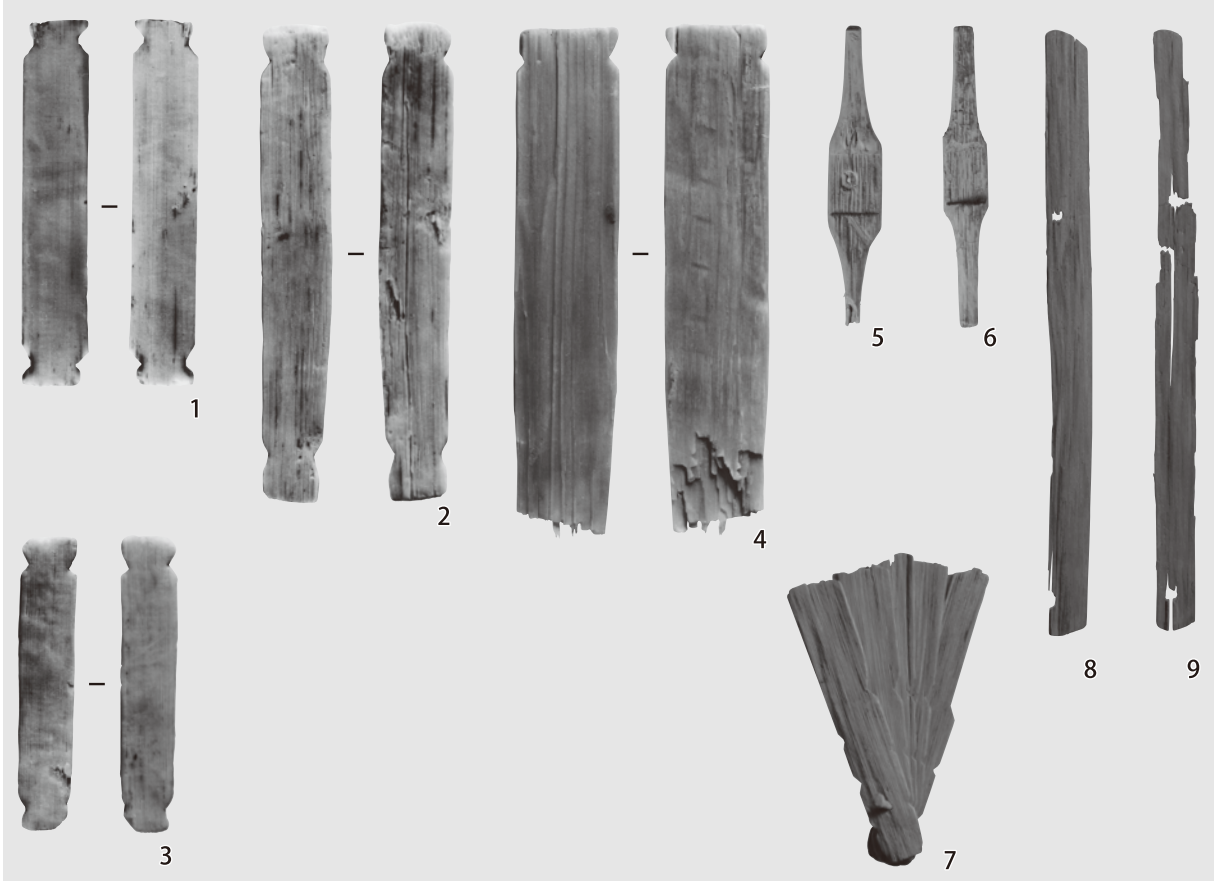
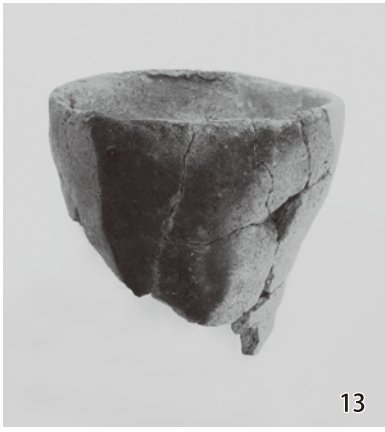


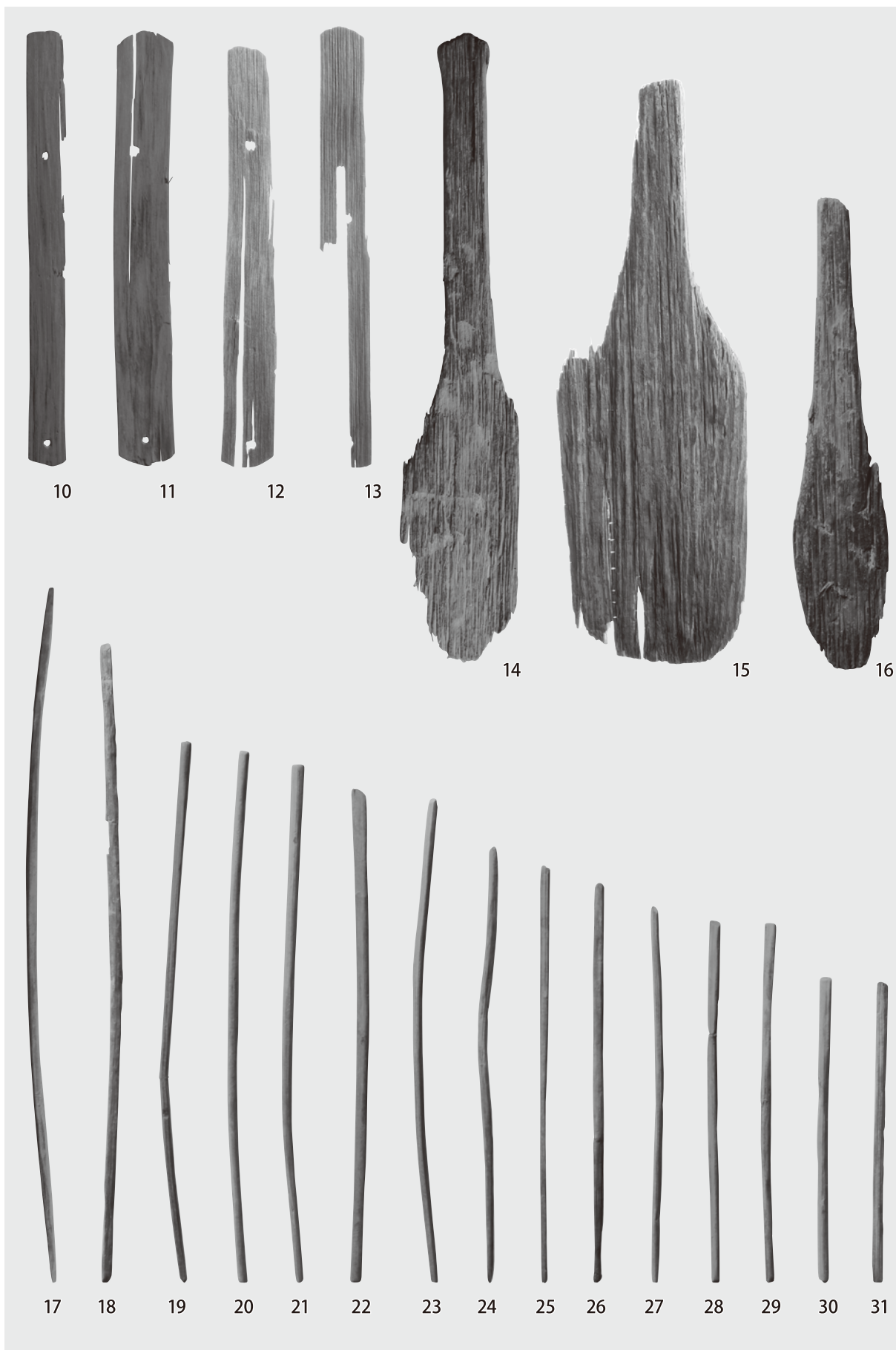
図版十八 土器(須恵器七・土師器)





図版二十 土器(焼塩土器二)、木器・木製品一





10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

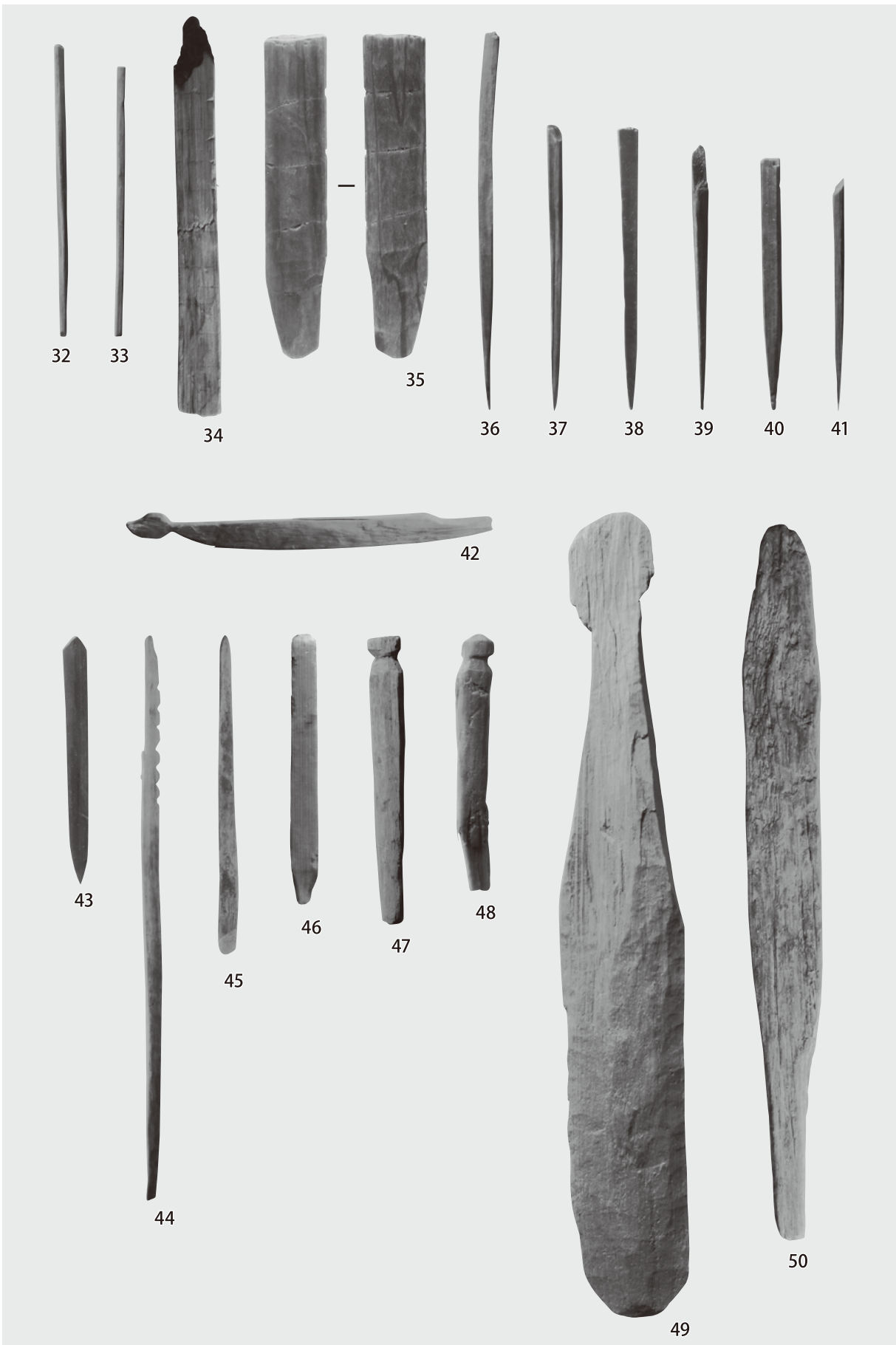
27

28

29

30

31



報 告 書 抄 録

ふりがな	じゅうようこうこしりょう あきこくぶんじあとどころしゅつどひん							
書 名	重要考古資料 安芸国分寺跡土坑出土品							
副 書 名	451号土坑出土の法会関係資料集成							
巻 次	—							
シリーズ名	東広島市教育委員会文化財調査報告書							
シリーズ番号	第66集							
編 著 者 名	妹尾周三							
編 集 機 関	東広島市教育委員会（東広島市出土文化財管理センター）							
所 在 地	〒739-2201 広島県東広島市河内町中河内 651 番地 7 TEL082-420-7890							
発 行 機 関	東広島市教育委員会							
所 在 地	〒739-8601 広島県東広島市西条栄町 8 番 29 号							
発行年月日	西暦 2022 年 3 月 30 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
しせき 史跡 あきこくぶんじあと 安芸国分寺跡	ひろしまけん 広島県 ひがしひろしまし 東広島市 さいじょうちょうよしゆき 西条町吉行	34212	国 1	35 度 25 分	132 度 45 分	20000801 ～ 20001130	1, 200 m ²	史跡整備
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
史跡 安芸国分寺跡	寺院跡	奈良時代	451号土坑	木簡、墨書土器、 須恵器、土師器、 焼塩土器、 木器・木製品		国分寺大衆院の土坑		
要 約	<p>史跡安芸国分寺跡の史跡整備に伴う 2000 年の第 12 次調査によって検出された 451 号土坑(S K 451)から出土した一括遺物の資料集成報告書である。</p> <p>木簡 82 点、土器 120 点（うち、墨書土器 42 点）、木器・木製品 50 点の合計 252 点 が出土し、紀年銘や墨書などから、創建後間もない国分寺において勤修されていた 仏教行事（安居・齋会）の一端を具体的に示す資料として評価できるものである。</p>							

東広島市教育委員会文化財調査報告書 第66集
重要考古資料 安芸国分寺跡土坑出土品
—451号土坑出土の法会関係資料集成—

発行日 令和4(2022)年3月30日

編集 東広島市教育委員会
(東広島市出土文化財管理センター)
〒739-2201 広島県東広島市河内町中河内 651 番地 7

発行 東広島市教育委員会
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町 8 番 29 号

印刷 有限会社アラ・アド
〒739-0022 東広島市西条町上三永 1675 番地